

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：ぶれすと新横浜ほいくえん	種別：認可保育所
代表者氏名：森山 みどり	定員（利用人数）：60(64)名
所在地：〒222-0034 横浜市港北区岸根町375-1	
TEL：045-718-6107	ホームページ： https://hoikuen.brest.co.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社プレストインターナショナル	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：2名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：15名 栄養士：2名
	調理師：1名 子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0～1歳児保育室 居室：2～5歳児保育室
	（設備等） 設備：調理室
	設備：職員室兼医務スペース
	設備：ミーティングルーム
	設備：乳児用トイレ
	設備：幼児用トイレ
	設備：誰でもトイレ
設備：配膳室 設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

違いを認めて学び合う

<基本方針>

- まなびがあそび あそびがまなび
- 思いやりの心を育てる

<保育目標>

1. あいさつがしっかりできる子
2. 自分の考えがしっかりもてる子
3. 自信を持って夢をもつ子

④施設・事業所の特徴的な取組

<ぶれすと新横浜ほいくえんの特徴的な取組>（基本情報I-3の記載事項）

- 「てぶらdeほいくサービス」育児の大変さを軽減するサービス内容です。オムツ、おしりふき、口拭きは使い放題、オーガニックコットンTシャツ、ズボン、肌着、園帽子、エプロン、寝具、水筒など。しかもプロのクリーニングサービスもあり、至れり尽くせりです。また、洋服取り違いや不足オムツの催促不要など、保育士の仕事や精神的負担を軽減しています。「時間のゆとりは」は「心のゆとり」となり自然と笑顔が生まれます。
- 「グローバルを目指し、外国人講師によるあそびを取り入れた、楽しい英語指導」0歳から5歳まで毎日実施しています。子ども、保護者から大好評です。福利厚生の一環で、職員の英会話レッスンも実施しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年07月17日（契約日） ～ 2024年02月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【ぶれすと新横浜ほいくえんの概要】

- ぶれすと新横浜ほいくえんは、令和3年4月に株式会社プレストインターナショナル（以下、法人という）により、開設された認可保育所です。法人の経営する「ぶれすとほいくえん」は、グローバル感覚溢れる英語が学べる認可保育園として、横浜・川崎に認可保育園と小規模保育事業を展開しています。法人は、「英語を通して文化、言語、考え方の違いを認めて学び合い、世界に目を向けてほしい」という願いから、「世界で活躍できる子どもたちを育てる」ことを念頭に、英語教育に力を入れています。また、法人系保育園ごとに知育玩具を採求し、「小学校準備講座」として4歳～5歳児を対象に、就学を見据えた国語・算数の授業も取り入れています。さらに、課外での体操教室等を開催して習い事の需要に対応する等、多くの体験ができるグローバル感覚の保育を提供しています。
- ぶれすと新横浜ほいくえんは、JR新横浜駅より、徒歩13分程の閑静な住宅地の中に位置しています。園周辺には、神社や公園、小学校、高校があり、港北区の緑豊かな自然に恵まれ、子育て世帯も多い地域です。園舎は、木造2階建て、黒を基調としたスタイリッシュな造りであり、広々とした人工芝の園庭を有し、トラックの周りに砂場・ジャングルジム・鉄棒・雲梯等の遊具が設置されています。
- ぶれすと新横浜ほいくえんの定員は60名で、0歳児～5歳児までの保育を実施し、現在64名の園児が在園しています。室内は、天井が高く開放的な空間が広がり、保育室は1階に0歳児～1歳児、2階に2歳児～5歳児クラスがあります。外国人スタッフが常駐し、子どもたちは日常的に英語に触れ、挨拶を交わしています。職員は、保育理念「違いを認めて学び合う」の下、一人ひとりの子どもに寄り添い、個性を大切に保育を実践しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【グローバル感覚の保育】

ぶれすと新横浜ほいくえん（以下、当園という）は、他の認可保育園には類を見ない特徴があります。その1つに「英語教育」が挙げられます。外国人スタッフが常駐し、子ど

もたちと生活を共にする中で、遊びを通して自然に英語が身に付くように取り組んでいます。毎日、0歳児～5歳児の年齢に応じた「英語サークルタイム」があり、歌・手遊び・ダンス等を楽しんでいます。子どもたちは、自然に耳から英語が入り「何を意味しているのか」が感覚的に分かっています。5歳児では、夏野菜を育てる中で「ナス＝eggplant」から、何故egg?と子どもたちが疑問に思い、自分たちで図鑑を調べ、「白いナス」を実際に栽培（日光に当てないようにアルミフォイルでカバー）した体験がありました。保育者は、子どもたちの疑問や発想を大切に、子どもたちが主体的に活動できるように環境を整えています。調査日は、クリスマス会（保護者参加）に向けて、各年齢で発表する歌・劇の練習をしていました。どの子も意気揚々と自分を表現し、笑顔が溢れていました。また、見ている子どもたちも一緒に歌を口ずさむ姿が見られ、共に楽しんでいます。年長児は、自分たちで選んだ「三匹のヤギのガラガラドン」を英語劇で表現すると張り切っていました。理念「違いを認めて学び合う」を基に、年齢、性別、人種、文化、職業、障害等、人には様々な違いがあることを幼少期の生活を通し、グローバルな心を育てる保育を実践しています。

2. 【多彩なプログラムの実践】

当園では、「ぶれすとほいくえん」のオリジナルプログラム「英語、リズム遊び、まなび、知育、読み聞かせ、外遊び、体験型保育」等に加え、季節行事「遠足、夏祭り、運動会、クリスマス会」等を行っています。また、4歳児～5歳児を対象に「小学校準備講座」として、法人の「学習塾BREST」教師による国語・算数の授業を取り入れています。さらに、課外に体育教師から鉄棒、跳び箱、マット運動等の「体操教室」を開催しています。子どもたちに、その時々に応じた体験を通して、テーマの「まなびがあそび あそびがまなび」につながっています。職員は、「楽しませる」ことを前提に、方法や手順について職員会議で討議し、一人ひとりの子どもに添った対応を模索しながら、様々な活動に取り組んでいます。今回の利用者家族アンケートにも「英語を楽しく学べる」・「国語・算数ありがたい」・「各種行事の充実」等の声が多く寄せられ、満足回答率87%と高い評価を得ています。

3. 【てぶらdeほいくサービスの推進】

保護者の負担軽減のため、「てぶらdeほいくサービス」を実施しています。オムツはもとより、衣服一式、帽子、寝具、水筒に至るまで、全て準備してあります。子どもの年齢、体型、好みの色等に合わせた衣類が揃えられ、降園時に翌日登園の衣服（下着も含め）を選んで持ち帰り、翌日に前日の衣服一式をランドリーボックスに回収、業者クリーニングサービスがあるシステムです。衣服も肌に優しいオーガニックコットンシャツを特注で作製されています。保護者からは、「忙しい朝にとても助かる」と大好評です。保育者も洋服取り違いや不足オムツの催促不要等、仕事や精神的負担の軽減になっているようです。反面、保育の中では、毎日の着替えの用意を個別に準備しておく等、保育者の隠れた作業のひと手間が窺えました。保護者に「時間のゆとりは」は「心のゆとり」となり、自然と笑顔が生まれ、子育てを楽しんでいただきたいとの思いから、サービスを推進しています。笑顔いっぱいの子育て・家庭・保育園の中で、子どもたちは心豊かに育っていくと言えます。

4. 【人材確保・育成の取組】

当園の運営上の課題として、「人材確保と育成」が挙げられています。この課題は、当園に限らず、保育園運営上に共通するものと思われます。当園は開設3年目で、若い職員が多いこともあり、産休や育休を見据えた課題です。法人として具体的には、①ホームページ＆ブログで園のアピール、②福利厚生の実施、③働きやすい環境設定や給与形態、

④法人グループ6園の協力体制や情報共有の強化、等を掲げて取組み、問い合わせも増えています。安定した人材確保は、その後の育成につながり、保育の質の向上につながっていきます。保護者に「選んでもらえる保育園」と同じように、職員にも「選んでもらえる職場」となるように、法人全体としてさらなる計画的な取組に期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 ぶれすと新横浜ほいくえん

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

第三者評価を受審したことで、職員の保育に取組む真剣な姿が再確認できたことは、とても良かったと思います。また、個々においても保育に対する幅広い知識の必要性を感じ取ってくれたと思います。保育に関しては主任やリーダーを中心にまとまりができ、質が向上しつつあると期待しています。

しかし、会社が取組んでいる園運営や福祉サービスに関しては、職員の関心度が低く、理解していない部分が非常に多く見られました。

これからは、園運営に対し透明性を持ち、職員に職員会議等で情報共有していく必要があると痛感しました。

保護者からのアンケートの回答に対して、調査者の方に統計結果を教えていただき、改善できることは職員の皆さんと検討し解決したいと考えています。

《評価後取組んだ事として》

1. 運営や人事採用の動きについて、職員会議等で情報共有をした。
2. フロアでのブリーフィングでは、一人の意見で決定しないよう、全員が発言できるような進捗に心がけるよう、リーダーたちに指導を行った。
3. 保護者からのお知らせ依頼チラシ・感染系についてのお知らせを事務室前の掲示板で、皆さんに情報共有を強化した。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり